

2026 年 7 月 28 日

AGC Biologics、大手バイオ医薬品企業と長期戦略的製造契約を締結 － 2027 年の商業生産開始に向け、横浜サイト立上げが順調に進展 －

AGC 株式会社（本社：東京、社長：平井良典）のバイオ医薬品 CDMO*¹ 事業子会社である AGC Biologics（本社：米国ワシントン州シアトル）は、大手バイオ医薬品企業と、バイオ医薬品の開発および製造サービスに関する長期製造契約を締結しました。

本契約により、AGC Biologics は、お客様が展開する複数のバイオ医薬品のグローバル供給を支える長期戦略的製造パートナーとして選定されます。また、契約期間を通じた受注総額は数百億円規模となる見込みです。今回の選定は、AGC Biologics がグローバルで培ってきた実績やお客様からの信頼に加え、横浜市に整備を進めている新たなバイオ医薬品 CDMO 拠点（以下、横浜サイト）の先進的な設備・技術力が評価されたものです。

AGC Biologics 横浜サイト（完成イメージ図）



横浜サイトは、動物細胞を用いたバイオ医薬品、mRNA 医薬品、細胞治療薬の 3 つのモダリティに対応する拠点として整備を進めています。国内 CDMO としては最大級*²の動物細胞培養槽を導入予定であり、今回の契約はその設備を活用したバイオ医薬品の商業生産サービスの提供を対象としています。2027 年の GMP*³ 準拠のサービス開始に向けた横浜サイトの立上げは計画通り進んでおり、今回の契約はその進捗を象徴するものです。

AGC Biologics は、横浜サイトの立上げを通じて日本・米国・欧州にまたがるグローバルネットワークを拡充し、お客様のバイオ医薬品の安定供給に貢献していきます。

AGC グループは、中期経営計画 **AGC plus-2026** において、製品・技術で創出する 3 つの社会的価値を定義しています。このうち“*Well-being*”では、生活や医療に必要な製品・サービスを安定的に提供し、安心・安全で健康な暮らしに貢献することを目指しています。ライフサイエンス事業では、バイオ医薬品をはじめとする多様なモダリティに対応した CDMO サービスを通じて、お客様の開発初期段階から商業生産までを支援し、世界の人々の健康に貢献していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部 [お問い合わせフォーム](#)

〈注釈〉

*1 CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization（医薬品受託開発・製造機関）

*2 当社推計

*3 GMP（Good Manufacturing Practice）：医薬品の品質基準に基づき、原料受入から製造・出荷までの工程全体を管理し、品質と安全性を確保する基準